

（午前11時6分 再開）

○議長（中西峰雄君）休憩前に引き続き会議を開きます。

一般質問を行います。

順番2、23番 井上君。

〔23番（井上勝彦君）登壇〕

○23番（井上勝彦君）皆さんこんにちは。今回、会派2番目に一般質問させていただきます。

教育行政についてということでございますが、私は、市長の公約でもあります、あやの台小学校の建設ということで、それを中心にさせていただくつもりなんです。もう既に文教厚生委員会のほうで進められておまして、そして、ほぼ予定どおり進んでおるということでございますが、とりわけ公約については、国のほうでは公約違反ということで、橋本市については、橋本市長は公約違反のないように着々と計画を進められておることについて、それも含めまして、給食の実施の問題ということも含めて、あやの台小学校を中心にご質問をさせていただきたいと思っております。

第1番目でございますけれども、橋本市が今現在、あやの台小学校の建設を進められておりますが、その建設予定時期は、既に平成24年度ということでございますが、それに関連をしまして、私は視点を改めて質問させていただきたいと思うんですけれども、あやの台には伊都・橋本方面からかなり住まわれてきております。そんな中で、環境もいいし、そして富貴とか高野山、あるいはかつらぎ、そういった方面からも若い方々が住まれてきておるわけなんですけれども、小学校いつできるんよということで、橋本市内の方々であ

ればよく存じておる、市民の皆さんも存じておりますけれども、そういった声が非常に多いわけございまして、それも含めてお聞きしておるわけなんですけれども、あやの台には、私も何回か経済建設委員会のほうでも視察にも行かしていただきましたけれども、非常に橋本市の立派な公園がつくられておるわけなんですけれども、そういったものも含めまして、進入路について、学校建設の中で一応あの公園を生かしていけるような、そういった地域のコミュニティという点から、進入路についてもどのような計画をされておるかということ、ちょっとお聞きをしたいと思っております。

それから2番目につきましては、その進入路も含めまして場所等々の、予定されている場所が今現在420戸あまりと聞いておるわけなんですけれども、これから学校ができますと、また近場に小学校ができたらいっぺん住んでみようかなという若い方の声もよく聞かれるわけなんですけれども、そういったものの場所も含めて一度お聞きしたいと思っております。

それから、3番目には、あやの台の小学校のこれからの中身として、発展していくであろう、また、1人でも多く住んでいただくために、規模等々についてどのような形で今後考えておられるのかということをお聞きしたいと思っております。

それから、4番目につきましては、あやの台小学校も含めた給食の数と、それから市内全中学校の給食を実施するという、既に中学校給食については、市長の公約どおり一応予定どおり進んでおると思っておりますけれども、その給食数と予定時期、それから場所について、配送も含めて、どことどこへ予定

をされておるのかということをお聞きしたい
と思います。

以上でございます。

○議長（中西峰雄君）23番 井上君の一般質
問に対する答弁を求めます。

教育長。

〔教育長（松田良夫君）登壇〕

○教育長（松田良夫君）井上議員のご質問に
お答えします。

まず、(仮称)あやの台小学校につきましては、
今まで多くの議論をいただいてまいりま
したが、住宅販売が進む中で児童数の増加が
続いており、このままでは隅田小学校の受け
入れが困難となることから、南海電気鉄道株
式会社との住宅開発に伴う協定書等に基づき、
隅田小学校の分離校として建設するもので
あり、平成25年4月に開校する予定であります。

現在は、南海電鉄において宅地の造成工事
を行う一方で、本市において校舎、屋内運動
場などの詳細な設計を実施しており、本年6
月頃に建築確認申請を行う予定としています。

建設場所はムーミン谷こども園から約300
m北東に位置しており、あやの台のほぼ東端
になります。小学校への進入路ですが、車道
についてはあやの台住宅地内の幅員6.2mの
道路が、既に学校用地まで南海電鉄により整
備されています。また、歩道については、住
宅地から学校用地においていくよう法面を利
用する形で南海電鉄が計画しており、整備が
終了しますと通学路を検討することとなりま
す。

次に、建設規模でございますが、平成25年
4月開校時の児童数見込みから、校舎につい
ては各学年2学級の12教室、特別支援学級用
の2教室の14の普通教室と、標準的な特別教
室を配置することとしており、鉄筋コンクリ
ート造2階建てで、建築延べ面積約4,000㎡の
計画であります。また、屋内運動場は鉄骨造

で、建築延べ面積約1,100㎡、プールは25mの
6コースで計画しています。

次に、学校給食についてですが、現在、市
内各小学校、高野口中学校及び応其小学校で
実施している給食数については、橋本学校給
食センターが教職員を含んで約3,200食、同じ
く高野口学校給食センターが1,200食の合計
4,400食を配食しています。

今回、中学校給食を平成24年度より実施す
ることとし、今議会でもご審議いただく平成
23年度当初予算にも、このための予算を計上
しています。中学校給食を実施する場合、旧
橋本市内の中学校で教職員を含んで約1,550
食の食数を確保する必要があることから、平
成23年度にそれぞれの給食センターの施設や
機材、備品の整備改修を行っていく予定とし
ています。これにより、橋本学校給食センタ
ーの調理能力を4,000食に、また、高野口学校
給食センターの能力を1,900食とすることが
できます。それぞれの給食センターが受け持
つ学校につきましては、高野口学校給食セン
ターにおいて、現在実施している高野口町内
の小学校、中学校及び幼稚園に加えて、西部
小学校、西部中学校、学文路小学校及び清水
小学校に配食することとし、その他の小学校
と中学校を橋本学校給食センターが受け持つ
ことといたしております。

訂正します。応其小学校と読み上げたのを
応其幼稚園に訂正いたします。失礼しました。

○議長（中西峰雄君）23番 井上君、再質問
ありますか。

23番 井上君。

○23番（井上勝彦君）予定どおり進められて
おるということで、このことにつきましては
いろいろお声がある方々に対して、今、教育
長から説明あったことを予定としてお話もで
きるということでありますので、非常にわか
りやすくご答弁をいただきました。

私が今ちょっと危惧しているところは、4番目からいきます。給食センターのことなんですが、高野口の場合は規模が1,900食、今1,200のやつが増築をして、センターそのものが非常に安心・安全というんですか、建物も新しいということでございますけれども、旧の橋本市の給食センターが食数も増えるわけなんですけれども、改築をやっているものかどうかということも含めて、今再度お尋ねをしておきたいと思います。

それから、配送というんですか、各学校へ行くわけなんですけれども、あやの台も含めて今後そういった配置というか、距離とかそういったものも含めて、予定でするので変わることあるだろうとは思いますが、そのことと2点をお聞きしたいと思います。

それと、私が冒頭、あやの台の公園が非常にいい公園なので、それも含めてそういう学校と地域とのコミュニティの場として、自然というものが大切に、非常に環境がいい場所であると。それで、普通あの公園が今、あまり使われてないというか、市の公園でありながらもったいないなと思ながら、管理するのに管理費をかなり要するわけなんですけど、そういったところを、同じ学校を建てて、そういうほかにないような、そういった新しい中で教育の内容というんですか、そういったものも模索してもどうかなというようにも思うわけなんですけども、そういったことも含めて3点ちょっとお尋ねしたいと思います。中身としてですね。教育長の考え方として、ご答弁いただけたらいいと思います。

○議長（中西峰雄君）教育長。

○教育長（松田良夫君）私のほうから、公園の活用についてご答弁させていただきたいと思います。

本当に今子どもたち、体験不足ということを言われてございます。野原で、あるいは森

林で思い切り遊ぶ、その中で子どもがさまざまに仲間とともに工夫したり、新しい活動を展開したり、そういう意味で、野原とか林とか森とか、あるいは公園の持つ教育力というのはすごく大きなものがあると私、常々思っております。ですから、学校の近くにそういう公園があるということは、そういう自然体験、あるいは仲間との体験、そんなものを非常に学校敷地内と立体的に構築できるものと思っておりますので、そういったことも含めて、地域の方とのコミュニティのあり方、子どもの活動のあり方、そういうものを含めて、今後のあやの台小学校の運営のあり方の中で、その公園も含めて考えていくような方向付けをしていきたいと思っております。

以上でございます。

○議長（中西峰雄君）教育次長。

○教育次長（西本健一君）1点目の給食センターの関係でございますが、これにつきましては、橋本学校給食センターにつきましては、答弁もありましたように処理能力が現在3,500食。これを4,000食にするべく、現施設のスペース的な限度がありますので、それと衛生基準等もございまして、そういったことから、その中身でございますボイラーの改修とか消毒保管機等を入れ替えまして、能力的に今現状の施設能力をアップさせるべく、3,500から4,000食に対応してまいりたいと考えております。

もう一方、高野口学校給食センターの件につきましては、現在、処理能力が1,400食と考えてございまして、これを1,900食に上げるべく、増築それから給食配送車等の関係の整備をしまして、能力的にできるだけ上げていきたいというところで考えてございます。給食センターのそういった施設、それから備品等の充実を含めて対応してまいりたいと思っております。

それと、もう一点おただしのございました、配送の距離等を考えてのということでございますが、これは相当教育総務課の担当の職員が研究した結果でございます。それも京奈和自動車道を使って隅田方面へ高野口から運べないとか、そういったところを研究した結果、市長決裁を得まして、ただ今報告させてもらったような給食の配送校を確定したいということで、これは研究した結果でございますので、現在そういうことで考えて実行に移すべく、中学校施設の整備とあわせて、考え方としてそういう考えで持っておりますので、それを進めてまいりたいと思っております。

以上でございます。

○議長（中西峰雄君）23番 井上君。

○23番（井上勝彦君）結構でございます。そういうふうな形で、公園等々も予算的な面も出てくるだろうと思いますが、そういった教育委員会のほうでそういう形の、形というんですか、そういう自然を生かした、そういったものやっただくことによって、また市長にも、またそういう予算等々も組んでいただかなければならないことにもなってくるだろうと思いますが、そういうことも含めて新しい学校のあり方というのを一つの、若い方々が住んでいただけるような魅力のある学校にしていだけたらというように思います。

それと最後にもう一点だけ、高野口給食センターが今公設公営で、橋本市が民間ですか。それで食数も増えるわけなんですけれども、民間に委託するという、ただ安くということの計算上だけではなくて、できれば災害等々の緊急時のときには公設公営というものも大事であろうと思うので、給食数が増えてでも民間に委託するということも含めて検討をするということも含めて、それについては教育長の答弁、市当局かな、どちらでもい

いんですが、そういったことも含めて一応考えていただけたらと。どういうふうな考えを持っていますか。

○議長（中西峰雄君）教育長。

○教育長（松田良夫君）高野口給食センターにつきましては、直営でいくのか民営に移すのかについては検討していくということで、従来どおりの答弁とさせていただきます。

以上でございます。

○議長（中西峰雄君）23番 井上君。

○23番（井上勝彦君）以上で私の一般質問を終了させていただきます。

○議長（中西峰雄君）これをもって23番 井上君の一般質問は終わりました。